

進路だより

常に今に全力を尽くせ

発行：尚志館高等学校 進路指導部 令和5年11月発行

尚志館の2学期

2学期が始まり11月を迎えました。今年も残り2か月を切りました。2学期は体育祭、文化祭と学校が一体となる行事が開催されることも楽しみの1つですが、3年生にとっては高校生活3年間の集大成である受験が待ち受けています。3年生の皆さんは、今、どのような気持ちで「今日」という一日を過ごすのでしょうか。コロナが落ち着き、日常生活が戻ってきた今と間断なくインフルエンザの猛威を感じる日々。最後の大会を控える部活もあります。気を引き締めて臨みたいものです。今回は「挑戦」をテーマに本紙を構成しました。

9月 就職試験 出陣式



出陣式にて、合格を勝ち取るべくその決意の思いが宣誓されました。

「エイエイオー」合格を勝ち取る先輩方にエールを。



進路実現に向け、皆さんはどのような準備をされていますか？先輩の行動を見て、話を聞いて情報収集を図ってください。担任の先生が何とかしてくれる？それは違います。あなたの人生は、あなたが主役です。自ら動きましょう。やるべきことはいくらかもあります。考えて行動する＝主体的に行動できる、自ら課題解決を図れる人材が求められています。指示待ち人間になることがないように、わからないことは率先して、先生方に質問に行き、やるべきことを自ら知りに行く、情報を求めに行く姿を応援します。3年生、頑張り。続け、1・2年生。

進路実現に向け、挑戦する「あなた」を応援します 体育祭（9/8-9）

9月8-9日、体育祭が行われました。3年生にとって高校生活最後の体育祭。各学年の活躍が記憶に新しいですね。特筆したいのは、団長を始めとする応援団に参加した皆さんです。3年応援団の皆さんは、就職試験・公務員試験等の準備に追われる8月に、応援団練習・進路活動の両立にと東奔西走しました。進路を考えると、皆さんは『高校生活で努力したことは？挑戦したことは？』という面接の基本問にどう答えますか？答える材料がありますか？今、求められる人材は、考えて行動し、失敗を恐れない。失敗しても「めげずに何度も立ち上がれる」人材です。失敗するは一時の恥。でも、かいた恥は、人を大きく成長させます。これを恥と思うか、成長・成功の為の通過点と捉えるか。あなたは、どう考えますか？

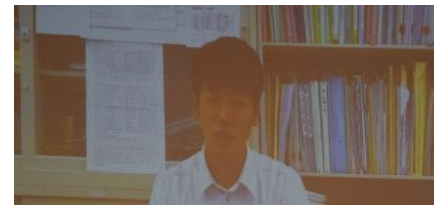


応援団に参加されたすべての生徒の皆さん、感動をありがとう。3年生の皆さん、進路実現に向け、fight です(≧▽≦)

生徒会長選挙（9/29）

本校の未来を占う生徒会長候補者選挙が実施されました。今回は、3名の候補者が立候補し、下戸悠太郎さん（特進2年）、吉留海月さん（普通2年）、下園萌華（看護科基礎課程2年）の3名がそれぞれ会長、副会長の座に就きました。皆さんの主張・応援演説で印象的だったことは、文武両道です。また、全校生徒の前で堂々と発表することは勇気のいることです。こういった挑戦の一つ一つが人間の器や精神を鍛えます。あなたは今、何に挑戦していますか？

下戸 悠太郎（特進科2年）
水泳部（志布志で活動）



「脱皮しない蛇は破滅する」。古い殻に閉じこもったままの人間はいずれダメになってしまうという趣旨の格言ですが、以前は私も、できないと感じたことは早々に見切りをつけていました。しかし、出前授業がきっかけでステレオタイプな考えを改め、やってみたいことに積極的にチャレンジしています。やるべきことは多いですが、これから先の人生において後悔することのないように、挑戦させてもらっていることへの感謝を心に留めて、これからも邁進していきます。

進路実現に向かう挑戦者たち

検定や部活に挑戦する者の成功体験に耳を傾けると、そこには、成功のヒントがあるかもしれません。注目してみましょう。

「3度目の正直で掴んだ合格。この挑戦の中で、継続力と分析力の大切さを学んだ。不合格という結果に落胆することなく、毎回、自己分析を行い、自分の弱点を理解し、約1年に及ぶ継続は、決して容易なものではなかった。しかし、合格できたことは大きな自信となった。大学受験を控え、英検合格で学んだことを活かし、学習を継続する毎日。この挑戦から、何が得られるだろうと考えながら、日々勉強に励んでいる。」



英語検定 準1級合格
特進科3年 應本聡太
陸上部（短距離）

「私は多くの資格取得に励みました。特に簿記に力を入れて学習しました。全商簿記は1級まで取得できましたが、日商簿記は何度挑戦してもなかなか合格できず心が折れそうになることもあり。就職試験前は、日商簿記の勉強と並行して、適性検査の対策、面接練習にも励みました。夢は税理士になり、最終的には公認会計士になることです。実現するために日商簿記は必要となります。高校卒業までに日商簿記2級を取得できるように勉強に励みたいと思います。」



竹田麗央（商業科3年）
就職先：税理士法人
九州総合会計内定

「ついに叶えた県大会優勝。次の目標は、文武両道の継続。そして、将来の夢は、国家公務員。そんな自分が普段から意識していることは、『日々感謝を忘れず悔いの残らないようにすること』です。県大会優勝も沢山の人の支えによって実現できたこと。なので、何気なく過ごすこの日常は、当たり前のようにみえて、当たり前ではない。沢山の人の支えがあるからこそ、今の生活があります。このことを頭の片隅に置きながら、日々、悔いの残らぬよう、感謝を忘れず、これからも励みたいと思います。」



背泳ぎ 県総体優勝
中原 大斗（普通科1年）

戴灯式（10/31）

看護科2年の、看護科2年による、看護科2年のための戴灯式が行われました。看護師を志す39名にとって、決意を新たにすものであり、白衣を着るため、現場実習に臨むための儀式・登竜門です。ここではナイチンゲール誓詞によってその覚悟を誓います。

ナイチンゲールは、クリミア戦争において戦傷者の救済を敵味方の別なく、昼夜休みなく負傷者の救済にあたったことから「クリミアの天使」と評されました。夜間に灯をもって看護にあたるその姿。その灯を同士に分け与えることから「戴灯式」の名があります。

看護科の皆さんは、高校入学時から専門課程までの5ヵ年計画で国家試験合格を目指し、学校生活をすごしています。明るく照らされた未来を、自らの努力でさらに灯すべく勉強に励みます。

私は一年前、先輩方の戴灯式を見学させていただき、真っ白な白衣を身にまとった先輩方に憧れ、あの場に立ちたいと思っていました。そのためにクラス一丸となって勉強を頑張り、全員、戴灯試験に合格することができました。

いざ本番となると、私が思っていた以上に緊張してしまいましたが、この場に立っていることへの嬉しさの方が大きく、練習以上に良い式にできて一生の思い出になりました。私たちは、これから約3週間の実習が始まります。特に、病院実習は初めてのことが多く、わからない事やくじけそうになることも多々あると思いますが、一人一人、仲間がいることを忘れず、支え合って実習に励みたいと思います。

ナイチンゲール誓詞の一文をここに示します。

「我はここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん。」

「我は心より医師を助け、

我が手に託された人々の幸のために身を捧げん。」

現代社会のキーワード 「ダイバーシティ」 = 多様性

誰もが、自分らしく生活できて、自分の意見を自分らしく表現し、誰からも尊重される。そんな社会を現実のものとするべく、私たちは改めて、ナイチンゲールのような奉仕と献身性を胸に、日々の生活を大切に、丁寧に生きたいものです。



看護科基礎課程2年
久木田 りの

臨地実習・職場体験に参加して

福祉科・建設工業科・商業科の皆さんは、現場実習・インターンシップに参加しました。実習を終えた皆さんはどのようなことを感じたのでしょうか。

九月から一ヶ月間、九つの施設に分かれて実習が行われました。実習内容は、一人の担当利用者を受け持ち計画立案し援助を行うなど、校内では決して出来ない貴重な経験をする事が出来ました。教科書で知る内容とは違う場面も多く、戸惑った部分もありましたが、目配り・気配り・心配りの大切さを改めて感じる事が出来ました。忙しい中、実習を受けて頂いた施設の方々への感謝の気持ちを忘れず、実習での経験を今後の学校生活に生かし成長していきたいです。

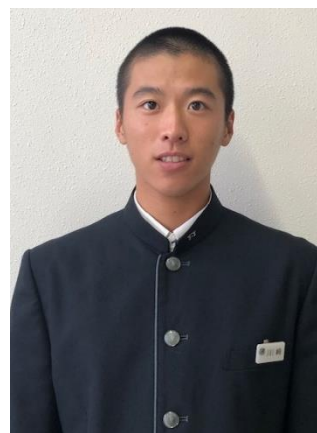


私は3日間の職場体験を通して、働くことのやりがいや大変さを知りました。私は(株)九電工に3日間お世話になり、様々な現場に行くことができました。現場では実際に作業に携わることができ貴重な経験となりました。一つ一つの仕事をこなすだけでも大変でした。ですがそれと同時に達成感を得ることもできました。どんな仕事をするにもその仕事のやりがいを見出すことは大切だということを感じるとともに、毎日家族のために働いている親への感謝も大きくなりました。この3日間の経験をこれからの進路活動に活かしていきたいです。



医療福祉科2年
山田 優珠

学校で、基本的な知識を学び、現場でその学びを活かす。普段の取組が、現場で患者さんやお客様、施設で暮らす人たちに影響をもたらす。学校での学びを大切にしましょう。



建設工業科2年
川崎 知裕

私は、陸上部に所属し、主将を務め、部活動を夏で引退することなく、公務員の受験勉強と部活動を両立させてきました。

夏休みは午前部活、部活終了後には、登校し、勉強に励む。部活がない日は朝から登校し、勉強に励みました。受験勉強を始めた当初は、まったくわからず、あきらめかけたこともありましたが、仲間にも助けてもらい頑張ることができました。公務員受験を通して、仲間の大切さとあきらめないこと、粘り強く取り組むことの大切さを学べたことは、私の財産となりました。



建設工業科3年
中島 彰吾
東串良町役場 内定

「私は、今年の夏休みに鹿児島大学のオープンキャンパスに参加してきました。いくつかの講義を受け、教授・大学生の方々に話を聞き、入試という壁がいかに高いかということを知られました。率直に『世界が違う』とさえ感じました。今のうちから、もっと頑張らないといけないという思いも芽生えてきました。共通テストまで約1年程度。一瞬一瞬を大切にすごしたいです。」



普通科2年
新生徒会副会長
吉留 海月

今後の予定

2 学期期末考査(11月30日~12月5日)
→ 3年の一部クラスにとっては、「卒業考査」

職業理解ガイダンス(12/7)5・6限

対象クラス:普通科・商業科・建設工業科・医療福祉科の1・2年生

臨地実習 12月11日 看護科1年

クラスマッチ 12月21日

2 学期終業式 12月22日(金)

北予備ファイナル (特進・普通科3年)12月29・30日予定

最期に

まもなく、2023年が終了します。今年1年を悔いのないものにするために、まずは期末考査に向けて試験範囲を確認し、日々できるように努めましょう。

「内なる自分に勝つ」=これが「自律」です。携帯電話が成績を下げる要因になることのないように、自分自身の未来に向き合うために、学習・部活に励みましょう。